

子ども同士の間関係づくりを促進するための年間活動計画

年間計画を立てる際に配慮すること

学期	主なねらい	配慮すること
1	友人関係の輪を広げる クラス替えがあり、初めは関係の薄い時期	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士がかかわる機会を意図的に設定し、友人関係の輪を広げます。 ・学級の居場所づくりとして、「学級の一員として大切な存在」であることを実感できるようにします。
2	友達と自分を深く知り、お互いのよさを認め合う 大きな行事があり、学級・学年でまとまる時期	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などを通して役割を意識して協力し合い、学級集団として深いかかわりをもつことができるようにします。 ・友達と自分について深く知ることができるとともに、友達と自分のよいところに気付けるようにします。
3	お互いの成長を振り返り認め合うとともに、次年度に向けての目標と期待をもつことができる まとめと別れの時期	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いのかかわり合いの中で学習し、生活してきたことを振り返り、成長してきた自分や友達、そして学級を肯定的に受けとめることができるようにします。 ・出会いと別れの意味を理解し、次年度に向けて目標と期待をもつことができるようにします。

参考図書

エンカウンターで学級が変わる 小学校編、國分康孝監修、図書文化社、1996

構成的グループエンカウンター事典、國分康孝・國分久子編集、図書文化社、2004

小学校学習指導要領解説 特別活動編、文部科学省、平成20年8月

子ども同士の人間関係づくりを促進するための年間活動計画(小学校 第6学年)

4月 題材「新しい仲間のことを知ろう(バースデーチェーン)」	
導入	進級し、新しい学級になった今の気持ちを発表する。 新しい仲間と親睦を深めることの必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	バースデーチェーンをする。 自己紹介をしながら、一人一人の誕生日を確認する。
終末	活動後の気持ちやこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、これからの学校生活への期待を高める。

5月 題材「班の仲間についてもっと知ろう(どんな子かな)」	
導入	席替えをした今の気持ちや同じ班になった仲間について知っていることを発表する。 班の仲間について知ることの必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	すごろくトーキングをする。
終末	活動後の気持ちやこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、新しい班の仲間と協力しようとする。

6月 題材「憧れのリーダーをめざそう(小のリーダーとは!)」	
導入	最高学年として、リーダーにふさわしい行動ができているか振り返り、問題意識をもつ。 「憧れのリーダー」になるために必要なことについて考えようとする。
展開	下学年から慕われ、頼られる「憧れのリーダー」として必要な条件を考える。 各自で、リーダーの条件として、必要だと思うことに順位をつける(1~3位まで)。 班で発表し合い、各班で話し合った内容を全体に伝える。
終末	みんなの意見を聞き、再度リーダーとして大切なことの順位を考え、自分が目指すリーダー像を持つ。 教師の話聞き、自分の目指すリーダー像に向けて取り組もうとする。

7月 題材「すてきな夏休みにしよう(みんなで表現!)」	
導入	夏休みのめあてや楽しみにしていることを考える。 夏休みを充実したものにしようとするとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	班の中で、各自が考えたことをジェスチャーで表現し、仲間と当て合う。
終末	これからの夏休みのめあてを見直し、よりよいものにする。 教師の話聞き、めあてに向かって充実した夏休みを過ごそうとする。

9月 題材「前期後半の学校生活を充実させよう（公開未来日記）」	
導入	<p>事前準備：夏休みに入る前に、約1か月半後の9月の未来の自分に宛てて「こんな自分になりたい」というテーマで手紙を書く。</p> <p>1か月前に書いた自分宛の手紙を読んで問題意識をもち、本時の活動への意欲を高める。</p>
展開	<p>班の仲間の手紙に感想とアドバイスを付箋に書いて貼る。</p>
終末	<p>友達が書いた感想とアドバイスを読み、これからのめあてをワークシートに書く。</p> <p>教師の話聞き、これからの学校生活に対する期待と意欲を高める。</p>

10月 題材「友達のよさを見つけよう（ほめほめ大会）」	
導入	<p>クラスの一人一人が授業、係活動、行事等ががんばっている様子について、写真やビデオ等で振り返る。</p> <p>友達のがんばりやよさを見つけ、認めたりほめたりすることの大切さについて理解し、本時の活動への意欲を高める。</p>
展開	<p>友達をほめる上で大切なことについて確認する。</p> <p>一人ずつ前に出てきて、その友達のよいところをみんなで発表し、ほめあう。</p>
終末	<p>ほめられたときの気持ちやほめたときの気持ちについて振り返り、感想を発表する。</p> <p>教師の話聞き、友達のよさをこれからも見つけ、友達と仲良くしていこうとする。</p>

11月 題材「友達のことをもっとよく知ろう（私は誰でしょう？）」	
導入	<p>自分の交友関係の範囲を振り返り、交友の偏りがないか問題意識をもつ。</p> <p>クラスの中の多くの友達とかかわるためにもっと友達を知ることの必要性を理解し、本時の活動への意欲を高める。</p>
展開	<p>自分の特徴「ニックネーム」「好きな食べ物」「自分を動物にたとえると」などをカードに書き、そのカードを教師が集める。</p> <p>カードを教師が順に紹介し、それが誰なのかみんなで当てる。</p>
終末	<p>活動後の感想やこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。</p> <p>教師の話聞き、多くの友達とかかわろうとする。</p>

12月 題材「自分の考えをはっきり述べよう（仲間はずれのないクラスに）」	
導入	仲間はずしをした経験や仲間はずしをされた経験について思い出す。 仲間はずしのないクラスにするためにどうしたらよいか問題意識をもつとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	「友達から仲間はずしをしようと誘われ悩んでいる」様子が書かれた資料を読む。 自分だったらどうするか考える。また、その理由も考え、ワークシートに書く。 班で発表し合い、各班で話し合った内容を全体に伝える。
終末	全体の話し合いを通して自分の考え方を見直し、これからのめあてをもつ。 教師の話聞き、自分の考えをはっきり述べていこうとする。

1月 題材「仲間とのかかわりを深めよう（色えんぴつを忘れちゃった!）」	
導入	卒業までの残りの日々を学級の仲間とどのように過ごしたいか考え発表する。 仲間とさらに協力し、かかわりを深めていく必要性を理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	「情報を伝え合い、協力して絵を完成させる」活動に取り組むことを知る。 ルールを把握する。 ・一人一人が絵の色に関する情報カードを持つ。 ・カードの内容は直接見せず言葉のみで伝える。 ・互いの情報をまとめながら一枚の絵を色鉛筆で仕上げていく。 情報を伝え合い、協力して色やぬり方を考え、担当している色をぬる。 正解の絵を確認する。
終末	活動後の感想やこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、今後の学級生活の中で友達と協力していこうとする。

2月 題材「温かい言葉をかけ合おう（ほっとワード）」	
導入	これまでの友達に対する言葉遣いについて振り返り問題意識をもつ。 「温かい言葉をかけ合うこと」の大切さを理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	言われた言葉や元気が出る言葉を思い出し、ワークシートに書く。 班をつくり、温かい言葉を言ってもらう順番を決める。 一番最初の人のワークシートを受け取り、それ以外の仲間が書いてある言葉を順番にかける。
終末	活動後の感想やこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、今後の友達とのかかわりに生かしていこうとする。

3月 題材「ありがとうの気持ちをこめて(すてきなプレゼント)」	
導入	卒業まで残りわずかであることを確認し、学級での1年間の生活を振り返る。 友達に感謝の気持ちを伝えることの意義を理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	班ごとにグループをつくり、仲間のよいところ、頑張っていたところなどを円形のカードに書く。 円形のカードが書き上がったら台紙に貼りつける。 一人一人が完成品をもらい、友達からのメッセージを読む。
終末	友達からもらったメッセージを読んだ感想を発表し合う。 教師の話聞き、残りの学校生活を感謝の気持ちをもって友達とかかわろうとする。

参考図書

「エンカウンターで学級活動12か月 小学校高学年」八巻寛治編、明治図書出版、2010

「みんながなかよくなれる学級ゲーム」八巻寛治、小学館、2009

「構成的グループエンカウンターミニエクササイズ56選 小学校版」八巻寛治、明治図書出版、2001

子ども同士の人間関係づくりを促進するための年間活動計画(中学校 第1学年)

4月 題材「新しい仲間と先生のことを知ろう」	
導入	進学し、中学生になった今の気持ちを発表する。 新しい仲間、先生と親睦を深めることの必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	自分と学級の仲間の「共通点(生まれた月、好きな食べ物など)」を探すゲームを行う。 「担任のプロフィール」クイズを行う。
終末	活動後の気持ちやこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、これからの学校生活への期待を高める。

5月 題材「学級の仲間と協力しよう(野外宿泊活動)」	
導入	中学校に進学し、約1か月経過後の中学校生活に対する感想を発表する。 野外宿泊活動のねらいの一つである、仲間と協力することの大切さを理解するとともに、これから行う活動への意欲を高める。
展開	「人間知恵の輪」、「オール・オン・ザ・ボード」、「ロー・エレクトリック・フェンス」などの活動を行う。
終末	活動後の気持ちや学んだこと、これからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、活動から学んだことを普段の生活に生かして仲間と協力しようとする。

6月 題材「班の仲間についてもっと知ろう」	
導入	席替えをした今の気持ちや同じ班になった仲間について知っていることを発表する。 班の仲間について知る必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	班の仲間全員の共通点(好きな食べ物、趣味、好きな教科など)を探す。 班ごとに共通点を発表する。
終末	活動後の気持ちやこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、新しい班のメンバーと楽しく過ごそうとする。

7月 題材「班の仲間に積極的にかかわろう(新聞パズルを完成させよう)」	
導入	新しい班で約1か月間過ごしてみて、班の仲間同士の親密度や協力の度合について振り返る。 班の仲間に積極的にかかわることの必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	16枚に分かれた新聞紙を班で協力して完成させる。 24枚に分かれた新聞紙を班で協力して完成させる。今度は、完成させる時間を競う。
終末	仲間のがんばりやよいところを見つけるとともに、活動後の気持ちやこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、班の仲間に積極的にかかわっていかうとする。

9月 題材「体育大会を振り返ろう（サイコロトーク）」	
導入	初めて参加した中学校の体育大会の感想を発表する。 体育大会での自分、仲間、上級生のがんばりやよさを見つけ、認めたりほめたりすることの大切さについて理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	班で、サイコロトークをする（出た目のテーマについて語る）。 （例）1の目：上級生のすごいところ、2の目：自分ががんばったこと、3の目：自分のクラスのよかったところなど 各班で出された内容を全体に発表する。
終末	活動を通して見つけた自分、仲間、上級生のがんばりやよいところを振り返り、ワークシートに感想を書く。 教師の話聞き、これからの学校生活の中で仲間や上級生と協力していこうとする。

10月 題材「班の仲間と協力しよう」	
導入	席替えをした今の気持ちや同じ班になった仲間について知っていることを発表する。 班の仲間と協力することの必要性を理解するとともに、本時の活動への意欲を高める。
展開	班の仲間の一人一人だけがもつ情報をもとに、仲間同士で協力して課題を解決していく活動に取り組む。 答え合わせをする。
終末	仲間のがんばりやよいところを見つけるとともに、活動後の気持ちとこれからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、新しい班の仲間と協力していこうとする。

11月 題材「仲間とのかかわりを見直そう（少数派シミュレーション）」	
導入	自分の交友関係の範囲を振り返り、交友の偏りがいないか問題意識をもつ。 クラスの中の多くの友達とかかわることの必要性を理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	全員に指令カードを配付するが、学級の中で、3、4人だけは、みんなと違う指令カードをもらい、その指令に従ったジェスチャーをするゲームを数回行う。 少数派になったときの気持ちや多数派になったときの気持ちについて話し合い、普段の仲間同士の在り方と関連づけて考える。
終末	これまでの自分の交友関係を見直し、これからのめあてをワークシートに書き、発表する。 教師の話聞き、多くの友達とかかわろうとする。

1 2月 題材「仲間とのかかわりを深めよう（人間コピー）」	
導入	<p>11月の「仲間とのかかわりを見直そう」の学習を思い出し、その後の自分の友達へのかかわりや学級の様子について振り返る。</p> <p>クラスの友達と協力していくことの必要性を理解し、本時の活動への意欲を高める。</p>
展開	<p>「情報を伝え合い、協力して絵を完成させる（人間コピー）」活動に取り組むことを知る。</p> <p>ルールを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が提示した絵は、班の中で一人だけが見ることができる。 ・絵を見た仲間が、残りの仲間にできるだけ正確に伝える。 ・残りの仲間は、絵を見た仲間が伝えようとしていることを理解しようと努め、協力して絵を完成させる。 <p>「人間コピー」で描いた絵を班ごとに発表する。</p>
終末	<p>仲間のがんばりやよいところを見つけるとともに、これからのめあてをワークシートに書き、発表する。</p> <p>教師の話聞き、今後の学級生活の中で友達と協力していこうとする。</p>

1月 題材「学級の1年間の歩みを振り返ろう（学級史を作ろう）」	
導入	<p>写真や映像をもとに、今までに取り組んだ行事を振り返る。</p> <p>学級の1年間の努力やがんばり、よいところなどを振り返り、自分たちが成長できたことを喜ぶとともに、学級史を作ることへの意欲を高める。</p>
展開	<p>班に分かれ、班ごとに担当する行事を決める。</p> <p>違う班の生徒にそれぞれの行事についてインタビュー（思い出、みんなのがんばりやよいところ）する。</p> <p>インタビュー内容をもとに、その行事について班で協力してまとめる。</p>
終末	<p>活動後の感想を発表する。</p> <p>教師の話聞き、休み時間などを有効に使い、班で協力して学級史を作ろうとする。</p>

2月 題材「学級の1年間の歩みを振り返ろう2（我がクラスのニュース大賞）」	
導入	<p>あらかじめ、今年度のクラスの思い出、エピソードなどについてアンケートを取り、発表する。</p> <p>学級のニュースを学級史に加えることを確認し、本時の活動への意欲を高める。</p>
展開	<p>ペアをつくり、それぞれのニュースについての感想を話し合う。</p> <p>印象深いニュースを3つ選び投票する。</p> <p>投票結果を発表する。</p>
終末	<p>活動後の感想を発表する。</p> <p>教師の話聞き、今後もさらに友達と協力していこうとする。</p>

3月 題材「ありがとうの気持ちをこめて（別れの花束）」	
導入	1年が終わるまで残りわずかであることを確認し、学級での1年間の生活を振り返る。友達に感謝の気持ちを伝えることの意義を理解し、本時の活動への意欲を高める。
展開	学級全員の仲間のよいところ、頑張っていたところなどを円形のカードに書く。円形のカードが書き上がったら台紙に貼りつける（別れの花束）。一人一人が完成品をもらい、友達からのメッセージを読む。
終末	友達からもらったメッセージを読んだ感想を発表し合う。教師の話聞き、1年生の残りの学校生活を感謝の気持ちをもって友達とかかわろうとする。

参考図書

- 「エンカウンターで学級づくり12か月 中学校1年」吉澤克彦他編、明治図書出版、2006
- 「エンカウンターで学級が変わる 中学校編」國分康孝監修、図書文化社、1996
- 「新しい自然体験活動のすすめ」国立諫早少年自然の家、平成14年
- 「じんけんスキルブック」兵庫県人権・同和教育研究協議会、2001